

工事説明書 脱水洗濯機

**QuickWash QWC
Obutsu mini**

**ペットケア5.5
タイプ W.55.H**



Electrolux

安全上のご注意

- ◎ 機械の性能を十分発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、据え付け、電気工事、配管工事は、それぞれの専門の工事業者が行ってください。
- ◎ 必ず据え付けの前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
- ◎ ここに示した注意事項は

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意すべき内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は発火注意）が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。



警告

据え付け故事を行う方へ

製品を安全に正しくご使用いただくために工事説明書の指示に従って工事をしてください。

据え付け工事終了後に取り扱い説明に従って取り扱い上の注意をオーナーに説明してください。



本製品は水洗い用です

揮発性、また可燃性の液体を含む柔軟剤及びドライクリーニング用溶剤は使用しないでください。



⚠ 警告

フロントパネル、リアパネル、 トップパネルを開いたまま 運転しない



フロントパネル、リアパネル、およびトップパネルを開いたまま運転すると可動部や回転部に触れ、けがをすることや故障の原因となります。

操作パネルに水をかけない



操作パネルには、水をかけたり、濡れた手で触れたりしないでください。感電や漏電による火災のおそれがあります。

切替スイッチを操作する ときは



PCボードの切替スイッチを操作するとき、および機械の点検やお手入れを行うときは、必ず電源を切ってから行って下さい。感電や回転部、振動部への接触によるけがのおそれがあります。

分解や改造はしない



自分で絶対に分解や改造はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。



湿気の多い場所では漏電遮断器を必ず取り付ける



湿気や水気のある場所に据え付けるときは、漏電遮断器を必ず取り付けてください。故障や漏電した場合、感電することやけががあります。

機械を廃棄するときは



洗濯機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のため、前面のドアを取り外してください。産業廃棄物処理指定業者へ廃棄を依頼してください。

屋外には設置しない



この洗濯機は室内用です、屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるので、必ず室内に設置してください。



アースは確実に取り付ける



万一の感電や落雷時における事故防止および制御回路の耐ノイズ性を向上させるために、必ず本洗濯機専用のアースを設けてください。工事は接地工事についての指示に従ってください。



ドア用ロック装置は短絡しない



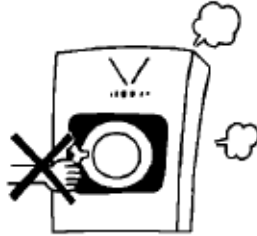
絶対にドア用ロック装置は短絡しないでください。異常動作によるけがのおそれがあります。

注意

フロントパネルとドラム外槽とのすきまに手を入れない



フロントパネルとドラム外槽との隙間には手を入れないでください。運転中、ドラム外槽は振動しますので、すきまに手を入れていると挟まれてけがをすることがあります。



据付け工事の際、電源仕様を確認する



据え付け工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

洗濯機の後ろ側などには入らない



洗濯機の後ろ側に入ったり、上に乗ったりしないでください。モーター、プーリーなどの回転物、あるいは給湯ホースなどの高温部に触れたりして、けがや、やけどをすることがあります。

また、店内では仕切などを設けて、お客様（特に幼児）が機器の後ろに入ったり、上に乗ったりすることができないようにしてください。



目次

目次

1	安全対策について	9
1.1	一般安全情報	10
1.2	商業用途専用	10
1.3	記号	10
2	技術データ	11
2.1	図面	11
2.2	図面: Obutsu mini	12
2.3	技術データ	13
2.4	接続部	13
3	設置	13
3.1	開梱	13
3.2	据付場所	14
3.3	機械関連のインストール	15
4	給水の接続	16
5	外部洗剤投入システムの接続	16
5.1	ホースの接続	16
5.2	外部洗剤投入システムの電氣的接続	17
5.2.1	コネクタ装備の機械	18
5.2.2	コネクタなしの機械	19
5.2.3	アウトプット	20
5.2.4	入力	21
6	排水の接続	22
7	電気接続	23
7.1	電気関連の据付	23
7.2	電気接続	23
7.3	機械の接続	24
8	最初の電源接続	26
8.1	使用言語を選択してください。	26
8.2	時間と日付の設定	26
9	機能確認	26

製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

1 安全対策について

布地の水洗い用洗剤のみを使用してください。ドライクリーニング剤の使用は絶対に避けてください。

本機のドアロックを改ざんしてかけなくてすむようにすることは、いかなる状況下でもおやめください。

本機械に不具合が生じた場合、担当者にただちにこの問題を報告することが必要です。使用者および他の方々の安全のためにも重要です。

本機を改造しないでください。

資格のある人員のみが修理を行うことができます。

認可されたスペアパーツのみを使用してください。

サービスの実施やパーツ修理の際は、電源ケーブルは抜いてください。

電源がオフになったら、オペレーターは機械が全てのアクセスポイントからオフになっている（プラグが外された状態）ことを確認する必要があります。機械の製造または設置理由からこれが不可能な場合、分離位置にロックシステムを設置することでオフにする方法が提供されなければなりません。

配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。

ベース部分の開口部がじゅうたんなどで塞がれないようにしてください。

乾燥させる衣類の最大量：5.5 kg

作業場での荷重排出音圧:

洗濯: <70 dB(A).

脱水のみ: <70 dB(A)

次の国に関する追加要件：AT、BE、BG、HR、CY、CZ、DK、EE、FI、FR、DE、GR、HU、IS、IE、IT、LV、LT、LU、MT、NL、NO、PL、PT、RO、SK、SI、ES、SE、CH、TR、UK:

- ・本機械は公共エリアで使用することができます。
- ・8歳以上のお子様、ならびに身体的、感覚的または知的能力が低下している、あるいは経験および知識がない方は、監視の下、または器具の安全な使用方法の指導を受け、伴う危険について理解した後、本機を使用することができます。お子様は本機を使って遊ばないものとします。クリーニングおよびユーザーによるメンテナンスを、監視なしでお子様が行わないものとします。

他の国の追加要件：

- ・身体、感覚、精神的能力が減少している方、または知識や経験が不足している方（子どもを含む）は、安全性に関する責任を持つ人物から、機器の使用について監督または指示を受けない限り、本機器を使用す

ることができません。お子様が本機で遊ばないように監視してください。

1.1 一般安全情報

この機械の用途は、水を使用しての洗濯のみとなっています。



本機に対し、ホースで水をまかないでください。

水滴により、電子機器 (およびその他のパーツ) へ損傷が発生する可能性を防止するため、初めて本機械を使用する24時間前までに、温度が室温である場所に置いてください。

1.2 商業用途専用

本書で説明されている機械製品は、商業用、業務用専用に製造されています。

1.3 記号

	注意
	本機の使用前に説明書をお読みください

2 技術データ

2.1 図面

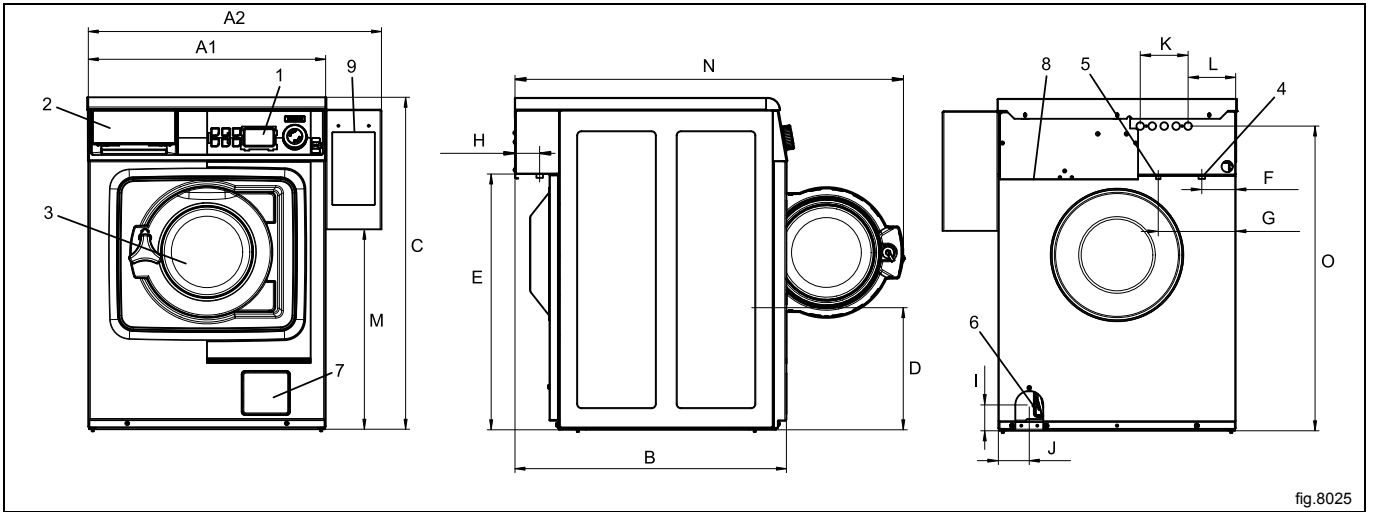


fig.8025

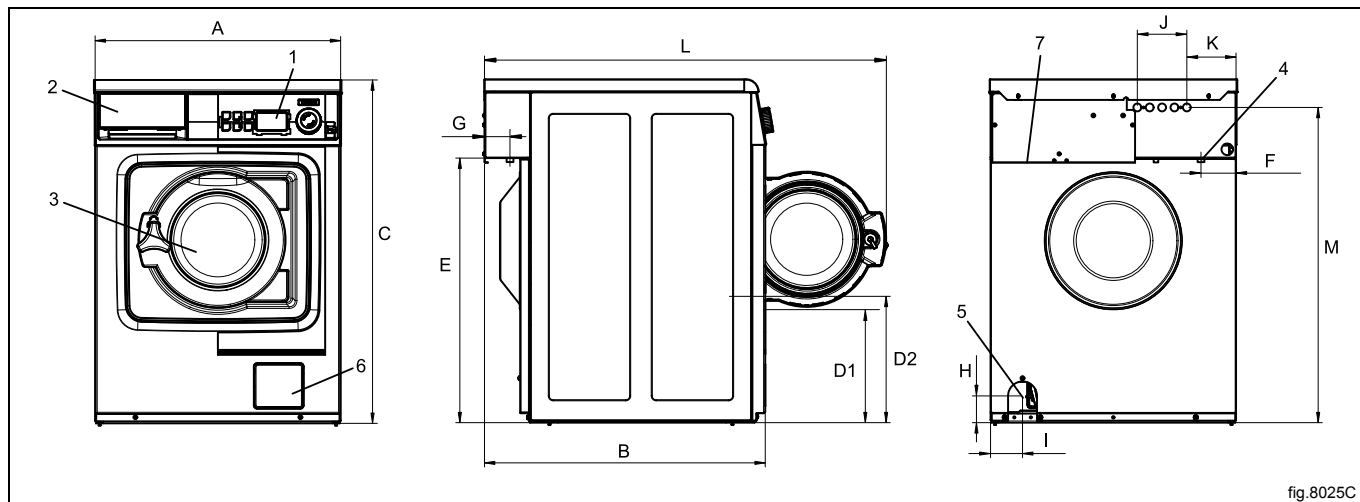
1	操作パネル
2	洗剤コンテナ
3	ドア開口、φ255 mm
4	給水
5	温水
6	排水弁
7	排水ポンプ
8	電気接続
9	支払システム

	A1	A2	B	C	D	E	F	G
mm	595	735	681	832*	306	641	84	194

	H	I	J	K	L	M	N	O
mm	48	65	78	120	119	501	974	764

* 高さ調整可能：25 mm.

2.2 図面: Obutsu mini



1	操作パネル
2	洗剤コンテナ
3	ドア開口、 ϕ 255 mm
4	給水
5	排水弁
6	排水ポンプ
7	電気接続

	A	B	C	D1	D1	E	F
mm	595	681	832*	284	310	641	84

	G	H	I	J	K	L	M
mm	48	65	78	120	119	974	764

* 高さ調整可能：25 mm.

2.3 技術データ

本体重量 (正味)	kg	100
ドラム容積	リットル	53
ドラム直径	mm	452
ドラム奥行き	mm	332
洗濯時のドラム回転数	rpm	35/54
脱水時のドラム回転数	rpm	1300
Obutsu mini		890
G係数、最大		425
Obutsu mini		200
加熱：電気	kW	4.4
加熱：温水		x
動周波数	Hz	20
脱水時の最大床荷重	kN	1.2±0.3
脱水時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	70/56
洗濯時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	56/42

* 音響パワーレベルはISO 60704に準拠して測定。

2.4 接続部

給水弁	DN BSP	20 3/4"
300 kPa時の給水能力	l/分	17
排水能力 (ポンプ)	l/分	34

3 設置

3.1 開梱

本機械は、運搬台にボルト付けされ、木枠あるいは箱に梱包されて配送されます。

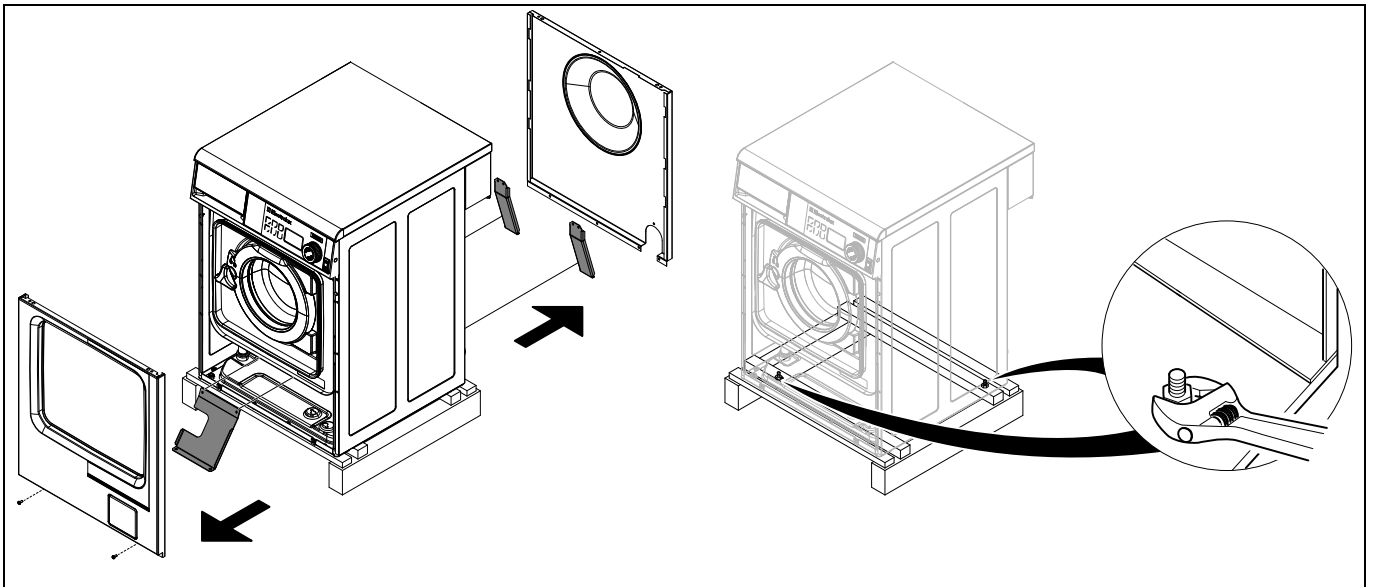
本機械から梱包材を取り除いてください。

底の縁についている2つのネジを外して、前面パネルを取り外してください。

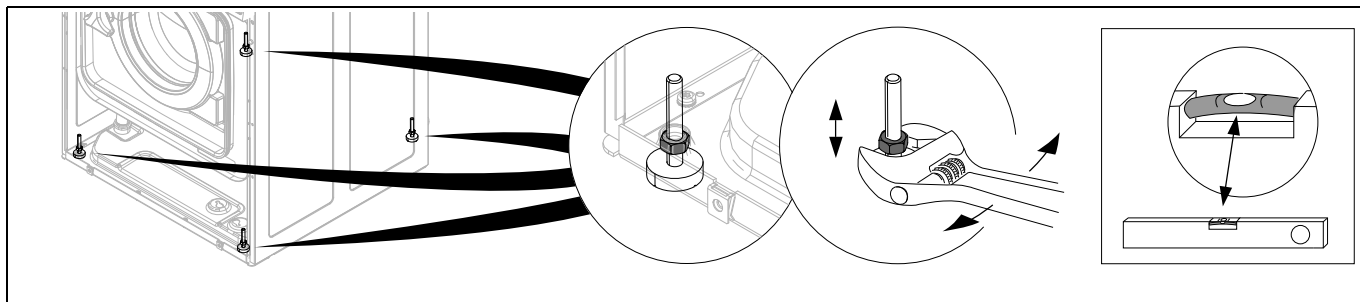
ネジを外して、背面パネルを取り外します。

3つの安全運搬サポートを取り除いてください。1つは前面に、2つは背面にあります。将来機械を移動する場合に備えて、安全運搬サポートを保管してください。

本機械と運搬台をつなぐボルトを取り除いてください。機械前面の右側に1つ、その反対側の対角線上に1つ、そして機械の背面に1つのボルトがそれぞれ取り付けられています。



パレットから機械を外します。本機械は、底枠で持ち上げてください。
同梱の支脚を取り付け、機械を水平に置きます。



前面および背面パネルを再度取り付けます。
本機械を最終位置に設置してください。

3.2 据付場所

本機を床の排水口または排水溝に近い位置に設置してください。
機械は、ご利用者とサービス担当者双方に十分な作業スペースがある場所に設置してください。
この図は、壁あるいは他の機械への最小距離を示しています。

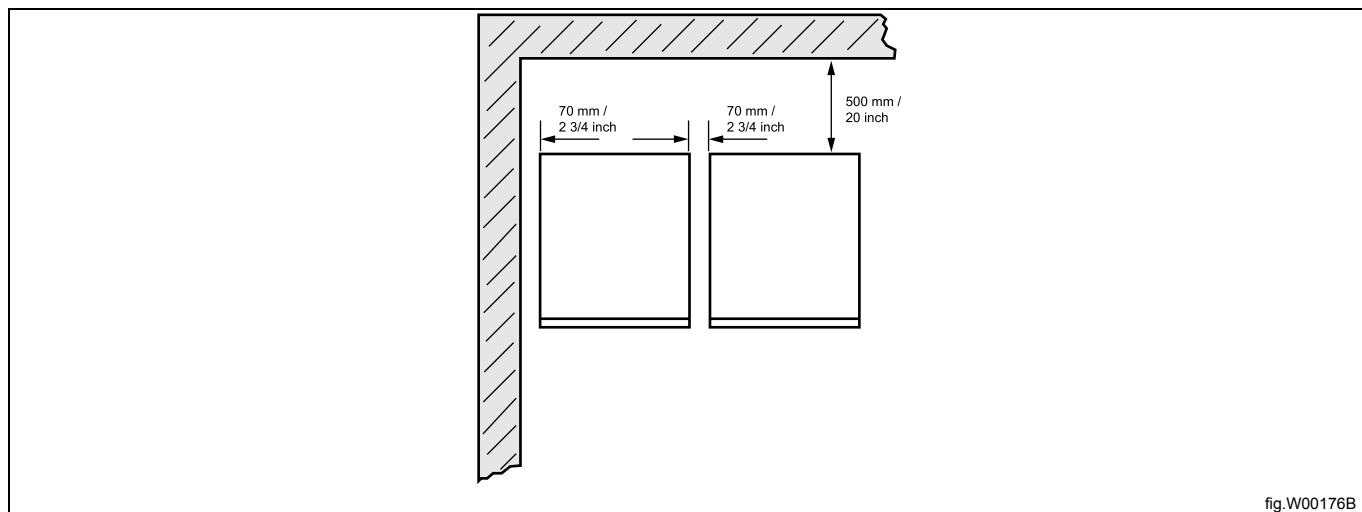
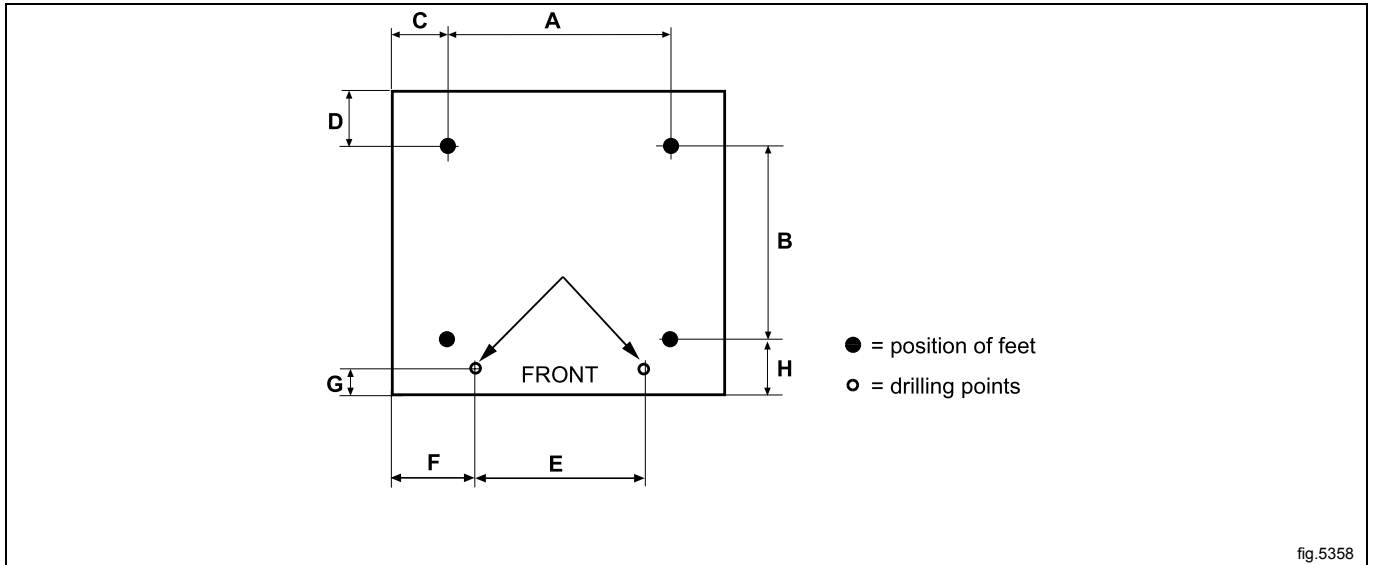


fig.W00176B

3.3 機械関連のインストール

機械を基礎に設置できない場合は、正面にしっかりと固定してください。
印をつけて、ドリルで深さ約 40 mm (φ 8 mm) の穴をふたつ開けてください。



	A	B	C	D	E	F	G	H
mm	530	490	35	125	290	150	40	50

ドリルでふたつの穴を開けた部分に本機械を配置してください。2つの穴は機械の前面に位置します。
本機械の脚部で、水平になるよう調整してください。本機械を水平に置く前に、できるだけ脚部を該当位置に取り付けてください。これによって機械の安定性が高まります。
フロアのドリルで穴をあけた箇所に、添付の拡張ボルトを挿入してください。洗濯機とナットを取り付けて、しっかりと締めて固定します。



前後左右に傾くことなく水平に本機械を設置することは極めて重要なことです。本機械が水平に設置されていないと、ドラム部のバランスが保たれていても、最終的なバランスが損なわれる可能性があります。

4 給水の接続

インストールや点検を容易にするために、本機械への給水接続部はすべて手動遮断バルブやフィルターに適合しなければなりません。

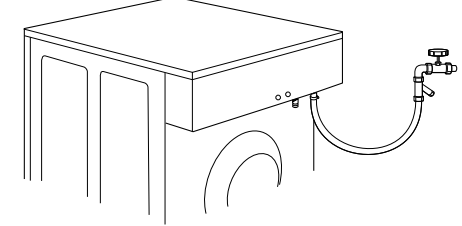
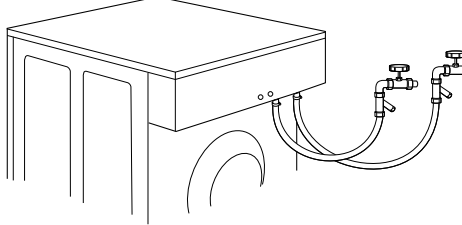
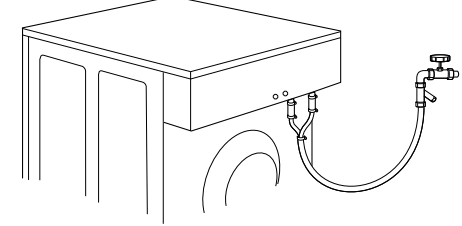
水道管やホースは接続前に水を流してきれいにしてください。

新しい給水ホースを機械に接続してください。中古の給水ホースは使用しないでください。

ホースはIEC 61770に準拠したもので、認可されたタイプとグレードでなければなりません。

インストール後、ホースはゆるやかな弧状にして掛けてください。

機械には、1つあるいは2つの供給用ホースを装備できます。

冷水のみ給水する場合の機械。	
温水と冷水を給水する場合の機械。	
機械が冷水と温水を供給できる設定になっていて、温水が供給できない場合、両方の弁は冷水に接続しなければなりません。	

水圧：

最小値：50 kPa (0.5 kp/cm²)

最大値：1 MPa (10 kp/cm²)

推奨：200-500 kPa (2-5 kp/cm²)

5 外部洗剤投入システムの接続

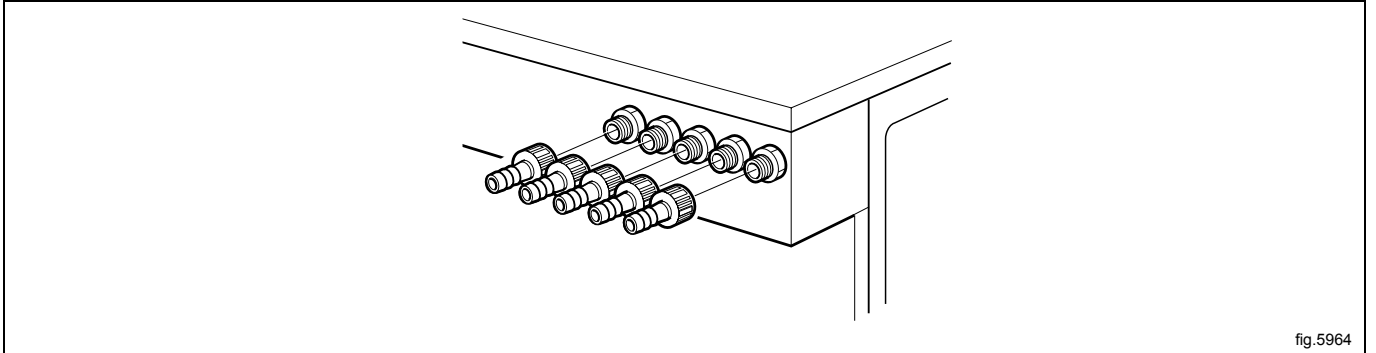
5.1 ホースの接続

本機は、外部洗剤投入システムまたは水再利用システムなどの接続に対応しています。

ホースニップルには2つのバージョンがあります。お使いの機械に合ったホースニップルの説明書の指示に従ってください。

最大機械 No. —60055/151668

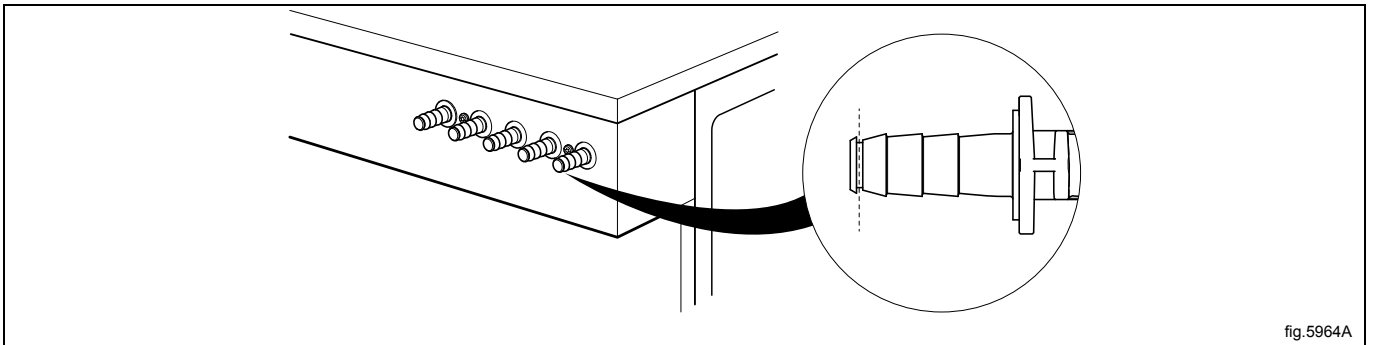
供給されているホースニップルを取り付けて、ホースをホースニップルへ接続します。



機械 No. 60055/151689-

図に表示されているとおり、使用しているホースニップルの上部を切断します。

ホースをホースニップルに接続します。



接続にはホースクランプでホースを常に接続したままにしてください。

ホースがシリコンなどの柔らかい材料でできている場合、ケーブルタイを使って接続部にホースを固定してください。ホースが堅い材料でできている場合は、ケーブルタイを使って接続部を締めることは推奨されません。

注

外部洗剤投入用の器具は、ネットワーク圧力ではなくポンプ圧力のみによって動作するように接続してください。

5.2 外部洗剤投入システムの電氣的接続



外部洗剤投入システムの電源を、決して本機の入カターミナルブロックまたは I/O ボード上のエッジコネクタへ接続してはなりません。

5.2.1 コネクタ装備の機械

本機の接続部 A および B に外部洗剤投入システムを接続してください。

シグナルケーブルを B に、電源を A に接続してください。

高効率投入システムでは、ケーブルが機械に接続されています。

電源供給ケーブルを、機械Aおよび接続ボックス内またはプラグとレセプタクルの付いている高効率投入からのケーブルと共にあるケーブルのもう一方の端部に接続します。

高効率コントロールJ2および機械Bのもう一方の端部へ、ケーブルの一方の端部を接続します。

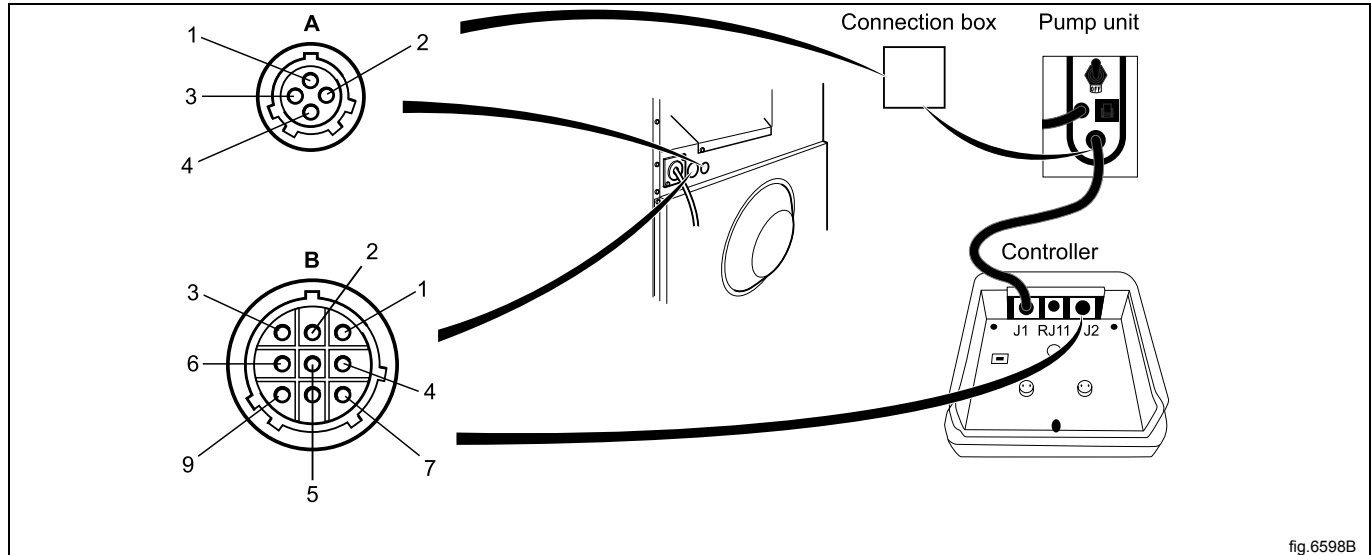


fig.6598B

A	
1	ライン
2	中性
3	
4	アース

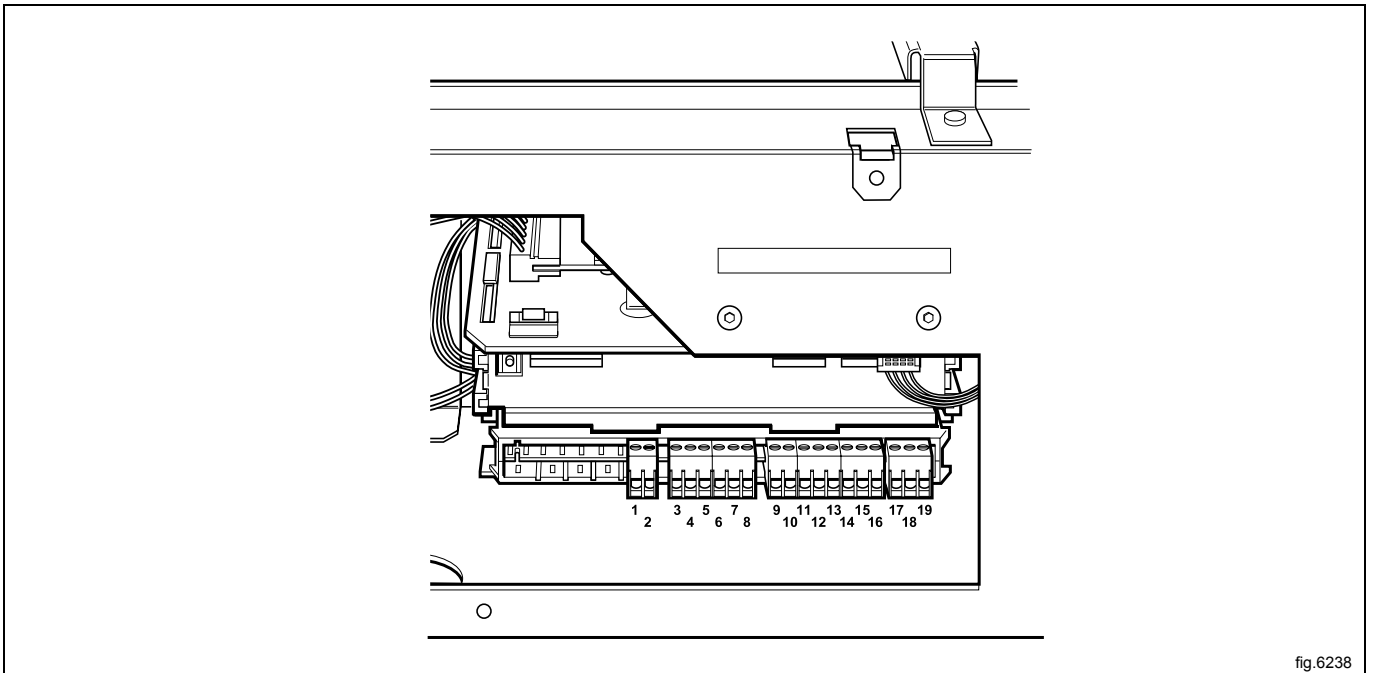
B	
1	中性
2	プログラム作動
3	グラウンド
4	シグナル 2
5	シグナル 3
6	シグナル 4
7	シグナル 5
8	Rx
9	Tx

5.2.2 コネクタなしの機械

電源入力の右側にある I/O ボードに、外部洗剤投入システムを接続してください。

I/O ボードには外部洗剤投入システム接続用のエッジコネクタがあります。

- I/O ボードのエッジコネクタはケーブル接続用に緩めることができます。



5.2.3 アウトプット

外部液体供給の電源（例：24V DC）を9および10に接続してください。（機械からの）内部電源が使用されている場合は、1 (N) から取って9に接続、そして2 (L) から取って10に接続してください。出力0.5 Aでの最大負荷。

外部液体供給 1~5 用シグナルは、12~16 のコネクタに以下のように接続されます。

- 12 = シグナル 1
- 13 = シグナル 2
- 14 = シグナル 3
- 15 = シグナル 4
- 16 = シグナル 5

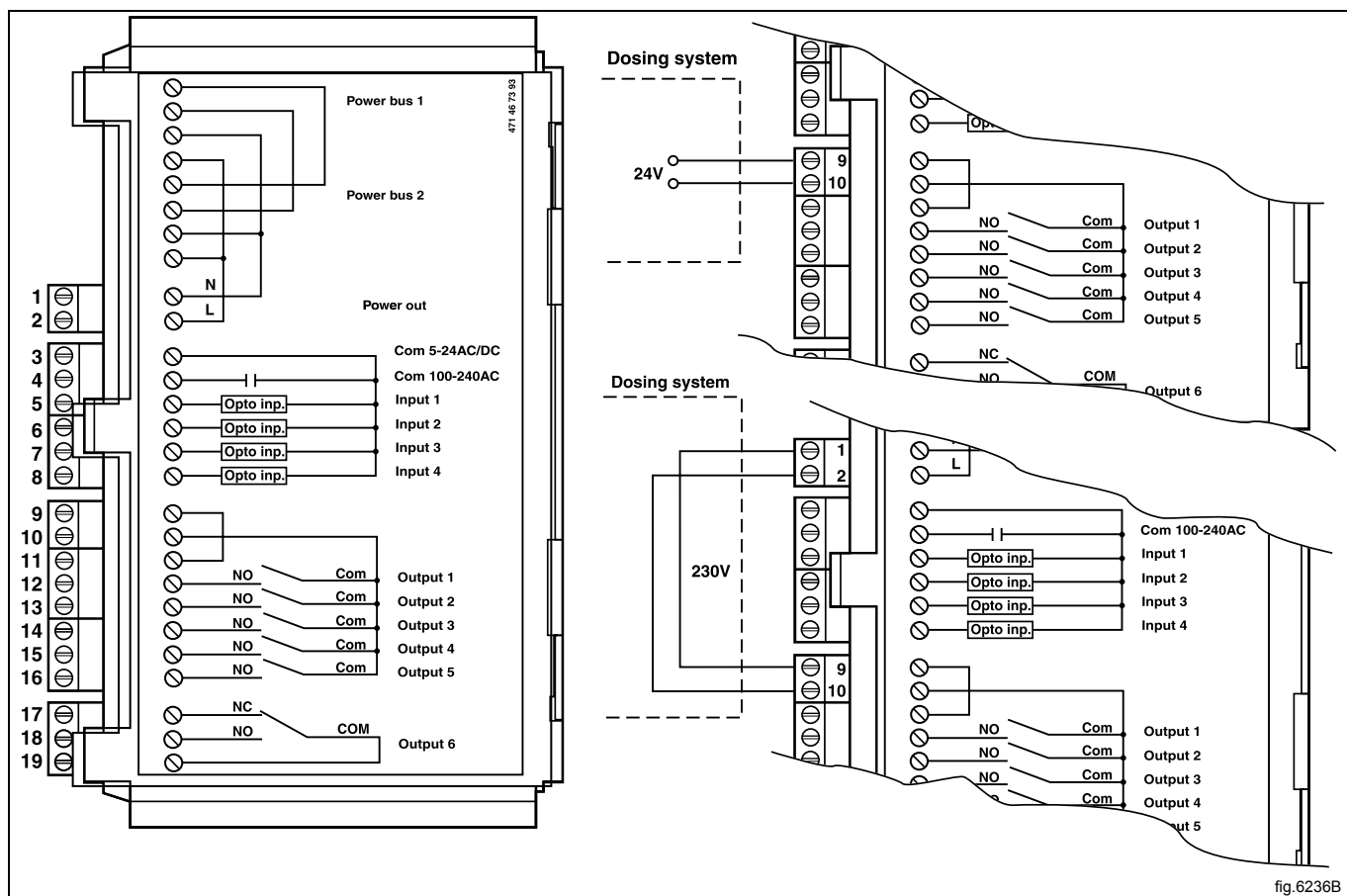


fig.6236B

	6M14	6F01	6R01	6F02	他のプログラム
シグナル 1	-	[Pre-wash (予洗)]	[Pre-wash (予洗)]	[Pre-wash (予洗)]	[Pre-wash (予洗)]
シグナル 2	本洗	本洗	本洗	本洗	本洗
シグナル 3	液体柔軟剤	液体柔軟剤	液体柔軟剤	液体柔軟剤	液体柔軟剤
シグナル 4	モップ最終すすぎ	消毒	Pr 1最後のすすぎ	本洗い	-
シグナル 5	漂白	漂白	漂白	漂白	漂白

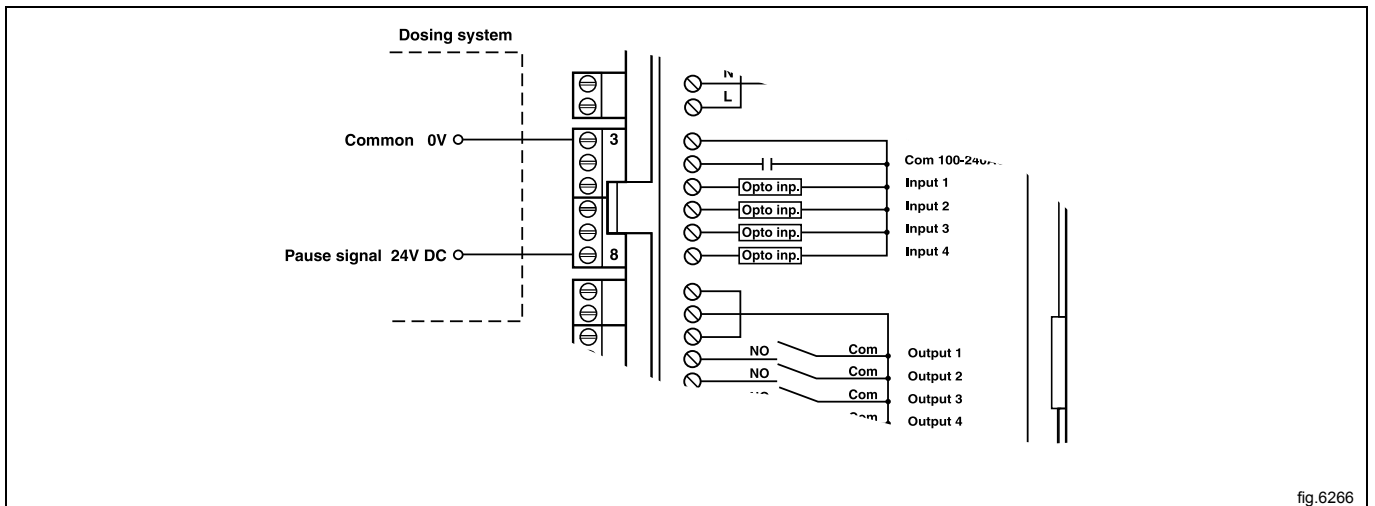
5.2.4 入力

シグナルレベルは 5-24V DC/AC または 100-240V AC です。5-24V ではシグナルレファレンスは 3 に接続、100-240V では 4 に接続されます。入力の電位はミックスできません。

注

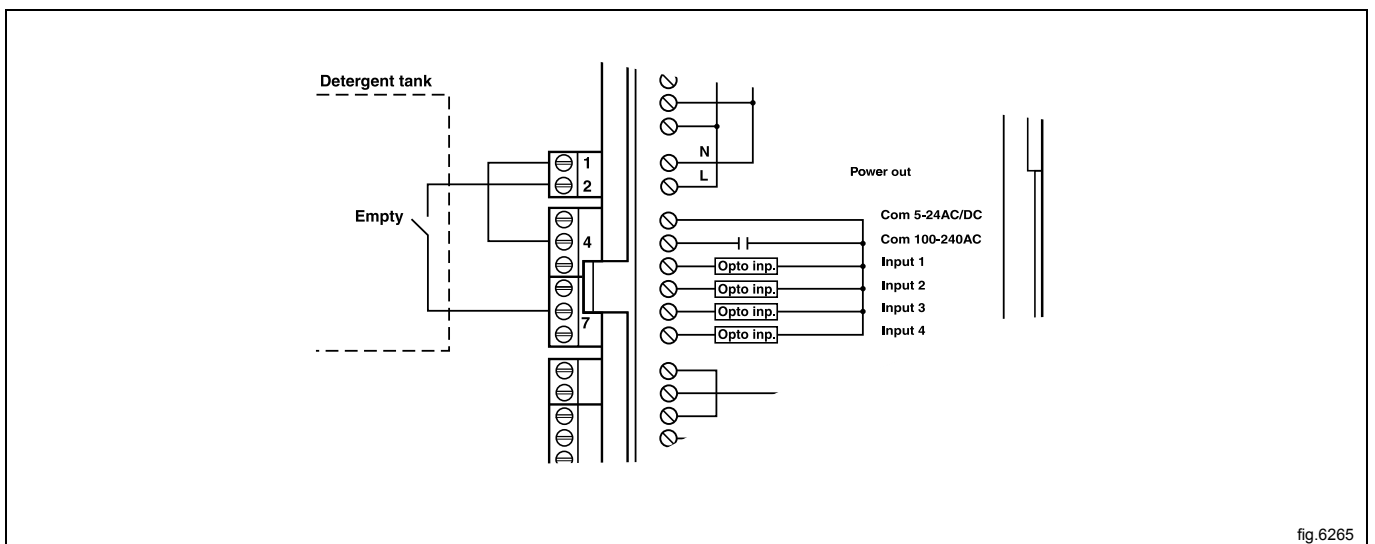
接続 3 の電圧が高すぎると I/O ボードが破損します。24V 未満にしてください。

接続部8は、洗剤の投入が進行している時など、洗濯プログラムが一時停止する際に接続することができます。この図は、24Vの一時停止シグナルを作動させる例を示しています。プログラムは、一時停止シグナルが稼働中（高）である限り、一時停止状態のままとなります。



接続7。これが接続されている場合、いずれかの化学剤タンクが空であれば、エラーメッセージが表示されます。但し、プログラムは継続されます。

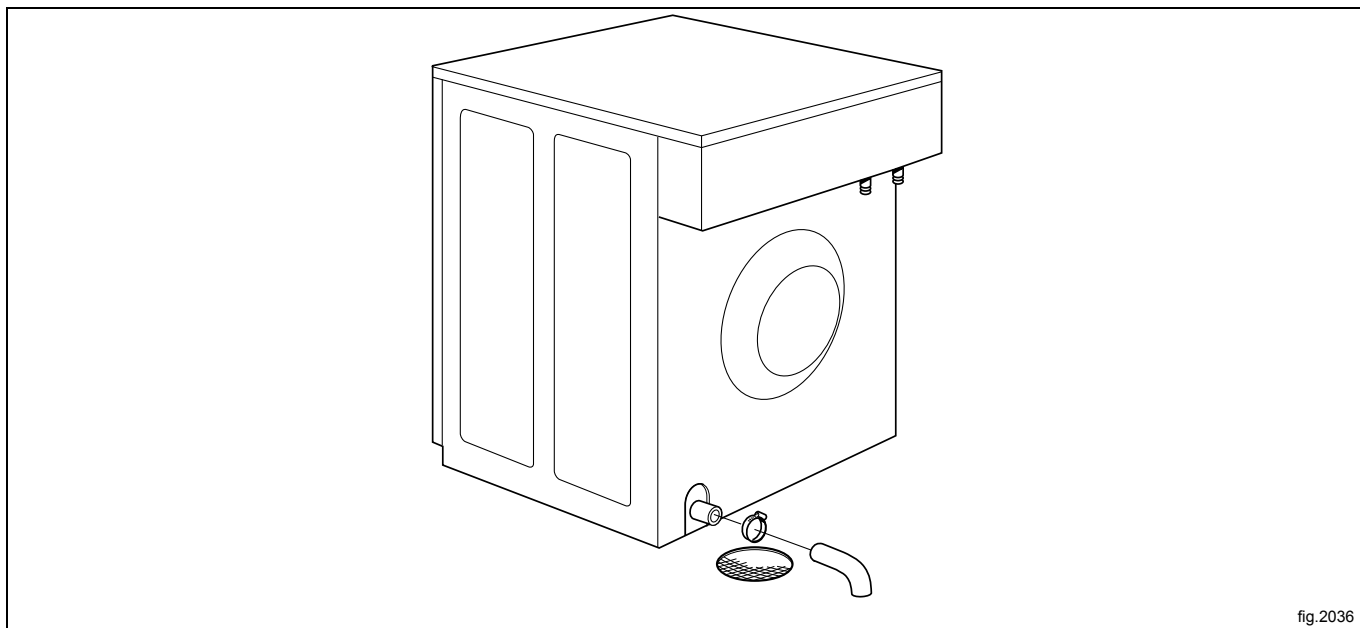
この図は、通常のオープンコンタクトを作動させる例を示しています。



6 排水の接続

排水弁

排水管は床の排水口、排水路、またはそのようなものの上に設置します。機械本体の排水口と床の排水口との間隔は最低 25 mm 取ってください。

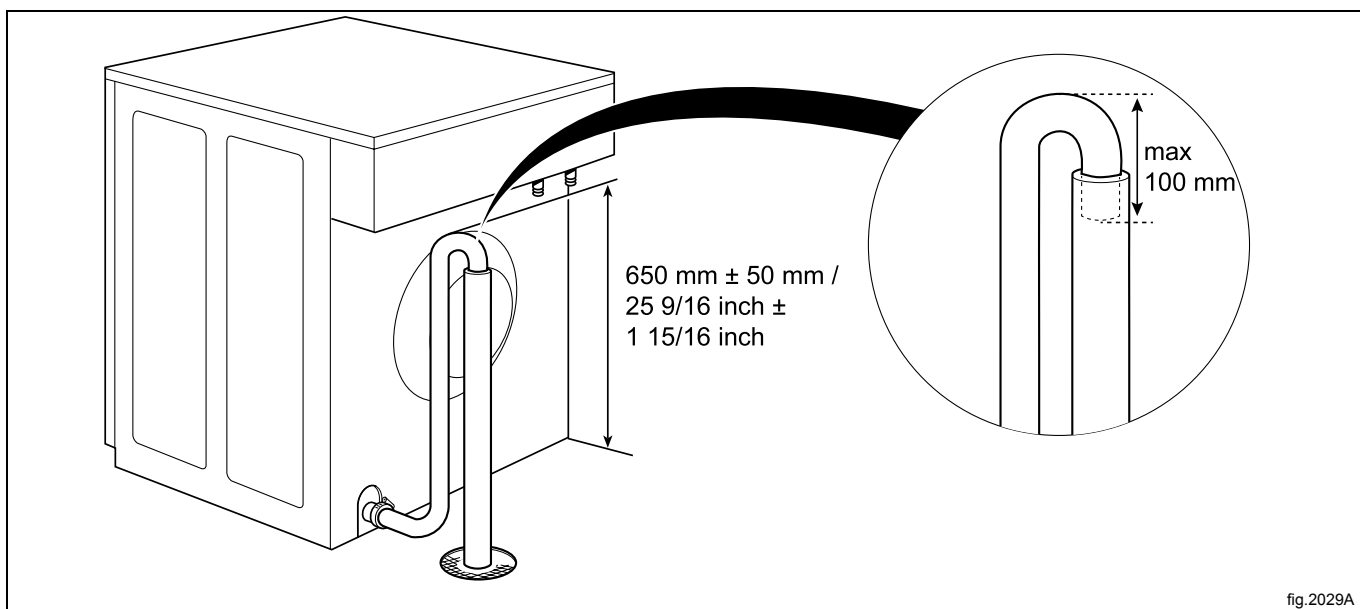


排水ポンプ

排水管は床の排水口、排水路、またはそのようなものの上に設置します。

図にしたがって、排水ホースの最上部を設置してください。

ホースにねじれがないことを確認してください。



7 電気接続

7.1 電気関連の据付



電気システムの据付は資格を持つ人材のみが実行できます。

配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。

機械のケーブルをスイッチに接続してください。

適切な方法でアースが接続されていることを検査します。

供給ケーブルの定格に関して、地域の規制をチェックしてください。供給ケーブルの最小外径は ϕ 10 mmです。

接続ケーブルはゆるやかな弧状にして掛けてください。

7.2 電気接続

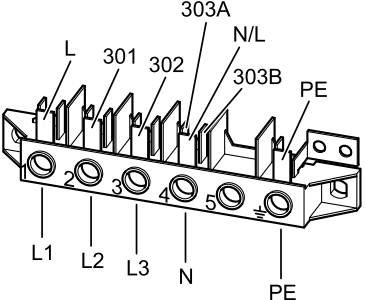
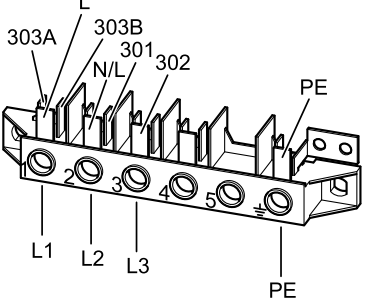
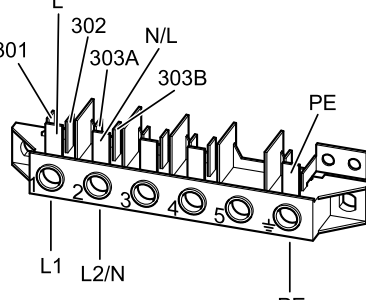
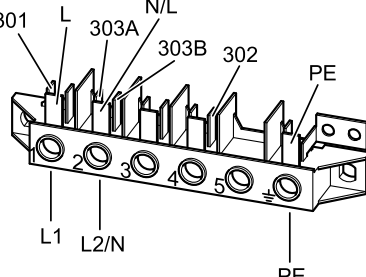
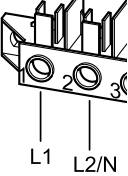
加熱方式	電圧	Hz	加熱電力 kW	総電力 kW	推奨ヒューズ A
電気加熱	220-240V 1~	50/60	2.2	2.6	16
	220-240V 1~	50/60	2.8	3.1	13
	380-415V 3~	50/60	4.4	4.8	10
	230V 1~	50/60	2.2	2.6	16
	230V 1~	50/60	4.4	4.8	25
	230V 1~	50/60	1.3	1.5	10
	400V 3N~	50/60	2.6	2.8	10
加熱なし	100V 1~	50/60	-	0.8	13

注

ケーブルとプラグ(黄緑色のワイヤ)の付いている日本市場向けの機械を接地ポイントに接続します。

7.3 機械の接続

機械は、以下のオプションへ切り替え/再接続できます。

<p>接続オプション 380-415V 3 NAC 4.4 kW 電気加熱</p>	
<p>接続オプション 208-240V 3AC 4.4 kW 電気加熱</p>	
<p>接続オプション 208-240V 1AC 4.4 kW 電気加熱</p>	
<p>接続オプション 208-240V 1AC 2.2 kW 電気加熱</p>	
<p>接続オプション 100-240V 1AC 加熱なし</p>	

8 最初の電源接続

取り付けが完了し、初めて電源を接続したら、以下を設定してください。1つの設定が完了すると、自動的に次の設定に進みます。

- 使用言語を選択してください。
- 時間と日付の設定
- サービスアラームの有効化/無効化

以下の設定に関する詳細については、プログラミングと構成マニュアルを参照してください。

8.1 使用言語を選択してください。

ディスプレイのリストから言語を選択します。

これは、すべての表示メッセージ、プログラム名などが示される言語です。

8.2 時間と日付の設定

「H」を選択し、コントロールノブを押して、メニュー「H」/「H」へ進みます。

「H」/「H」メニューを有効にし、正確な時間を設定します。

設定を保存します。

「H」/「H」メニューを有効にし、正確な日付を設定します。まず、年を設定することから始めます。

- 年を設定します。コントロールノブを長く押して、終了します。
- 月を設定します。コントロールノブを長く押して、終了します。
- 日付を設定します。コントロールノブを長く押して終了し、コントロールノブを長く押して保存します。完了したらメニューを終了します。

9 機能確認



有資格者のみが作業できます。



設置の完了後、機械の使用前に機能点検を実施することが必要です。

手動給水弁を開きます。

本洗い用として洗剤をボックスに投入してプログラムを開始します。

- ドラムが普通に回転していて、異常音がしないことを検査します。
- 給排水接続部に漏れがないことを検査します。
- 水が洗剤ボックスを通過することを検査します。
- プログラムの進行中はドアが開かないことを検査します。

使用準備完了

テストがすべて問題なければ、機械を使う準備が整いました。

テストで問題が生じたり、欠陥やエラーが検出された場合は、最寄のサービス拠点または取扱店にご連絡ください。



Electrolux Laundry Systems Sweden AB
341 80 Ljungby, Sweden
www.electrolux.com/professional

Share more of our thinking at www.electrolux.com